

| | | | |
|-------|---|-----|-----------|
| 教材教員名 | 押し方ホッチキス | 分類 | その他 - 自助具 |
| | | 授業名 | 図工 (小学部) |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> • 握ることが難しい児童が手のひらで押しホッチキス留めをすることができる • 手元を見て作業することができる | | |

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ホッチキスの間に紙を入れ、目印を手がかりに手のひらで押す。

<材料>

- ホッチキス
- 厚紙
- 机に固定するテープ

<工夫点>

- 動かないように机に固定した。
- 分かりやすいように目印となる手形を貼った。

<効果>

- 手元を見て作業することが難しい児童が、手元をよく見てホッチキス留めをしていた。
- 力の弱い児童も手のひらを使うことでホッチキス留めをすることができた。

| | | | |
|-------|---------------------|-----|------------|
| 教材教員名 | えんぴつ補助具 | 分類 | その他 - 自助具 |
| | | 授業名 | 国語・数学（高等部） |
| ねらい | ・手首を曲げずに文字を書く事ができる。 | | |

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

補助具のクリップ部分に鉛筆やサインペンなどをつけて書く。

<材料>

固めのスポンジ、目玉クリップ、紐、クリアファイル

<工夫点>

- ・スポンジの裏にクリアファイルを貼り付ける事で、動きやすくした。
- ・形をマウス型にする事で、握りやすい形になった。

<効果>

スポンジ部分に中指、薬指、小指を置く事で、自然と力を入れて握れるようになり、手首を曲げずに書けるようになった。また、筆圧も少し濃くなった。

| | | | |
|-------|---------------|-----|-----------|
| 教材教員名 | 重みのあるひざかけ | 分類 | その他 — 自助具 |
| | | 授業名 | 日常生活（小学部） |
| ねらい | 興奮時のクールダウンに使用 | | |

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

ひざにかけたり、寝転がった状態でお腹周りに乗せたりする。

<材料>

布、小石

<工夫点>

丸みのおびた小石を使った。掛けたときに体が覆われるように大きめのサイズにした。

<効果>

気持ちよさそうにひざにかけており、圧迫されることで落ち着く様子が見られるときもある。

| | | | |
|-------|--------------------------|-----|-----|
| 教材教具名 | 手もみジューサの感覚グッズ | 分類 | その他 |
| | | 授業名 | |
| ねらい | ・触りたい、口に入れたいなどの感覚の欲求を満たす | | |

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・手に持ってグニャグニャと握りながら感触を感じる。

<材料>

- ・手もみジューサーの袋 紙おむつのシリコン 水 輪ゴム

<工夫点>

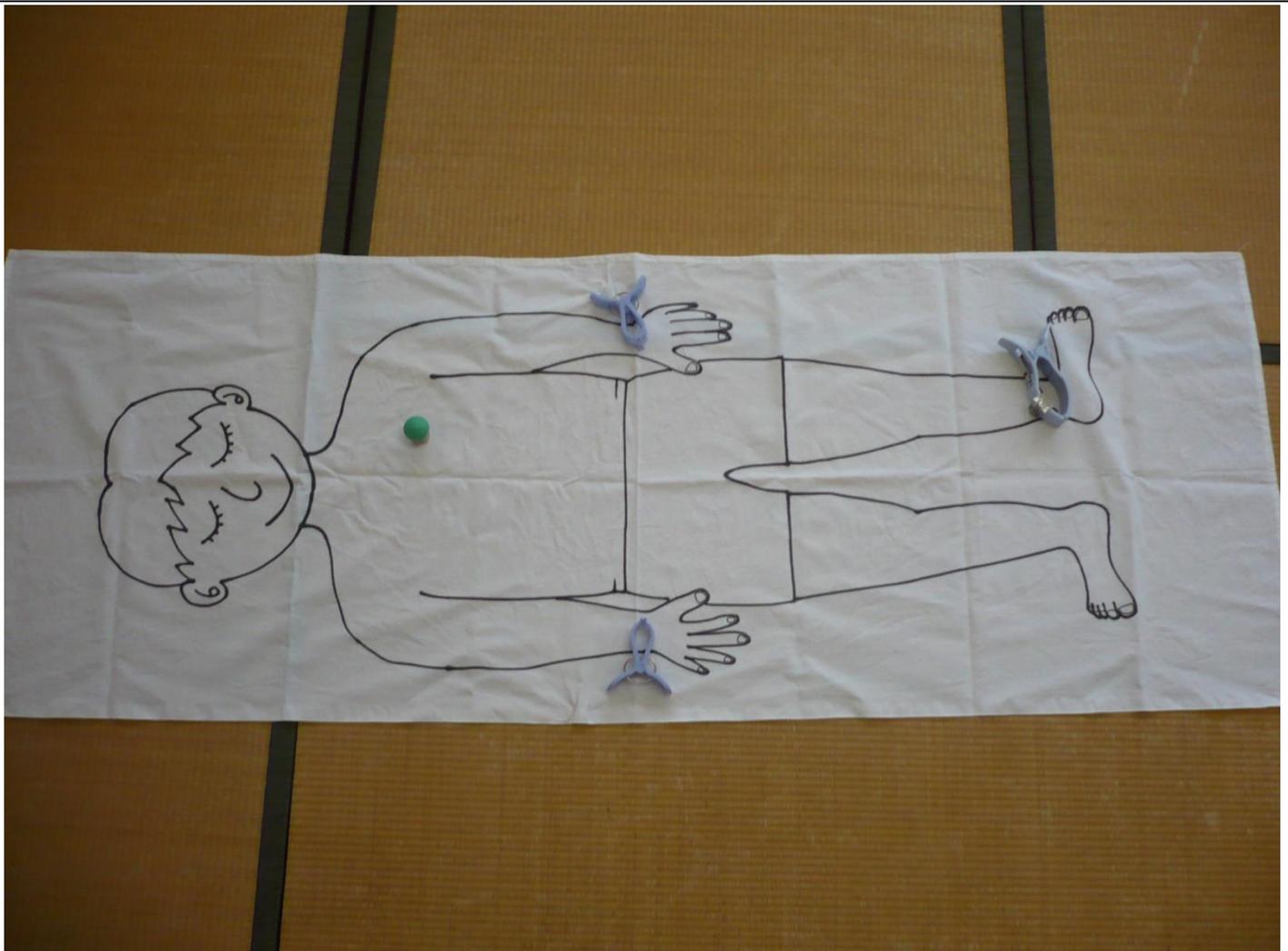
- ・袋を表裏逆に使用し、突起が外側に出るようにした。

<効果>

- ・保冷剤の感触を好むが、穴を開いてしまうために他のものを探していた。これにより、長く使用することが可能となった。

| | | | |
|-------|--|-----|-----|
| 教材教員名 | 心電図練習グッズ | 分類 | その他 |
| | | 授業名 | 全学部 |
| ねらい | 1 心電図検査の見通しをもてるようにする 2 実際の心電図検査の際の姿勢をわかりやすくするため | | |

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 1 学級での心電図検査の事前学習に使用する。
床の上にシーツを敷いて寝てみる。
- 2 実際の心電図検査の際に、検査技師に依頼して敷いてもらう。

<材料>

布

<工夫点>

目を閉じた絵にした。

<効果>

シーツの上に仰向けに寝るということがわかりやすかった。

| 教材教員名 | 耳鼻科練習グッズ | 分類 | その他 |
|-------|------------------------------------|-----|-----|
| | | 授業名 | 全学部 |
| ねらい | 1 耳鼻科検診の見通しをもてるようにする 2 検診器具に慣れる | | |

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

保健室で耳鼻科検診が苦手な児童生徒の個別指導に使用する。

<材料>

アルミホイル

<工夫点>

触れても痛くないため、実際の検診器具に慣れる前のステップとして有効であった。

<効果>

シートの上に仰向けに寝るということがわかりやすかった。

| 教材教員名 | 食品分類表 | 分類 | その他 |
|-------|---|-----|---------|
| | | 授業名 | 高等部、分教室 |
| ねらい | 食品は大まかに 3 つの群に分けられること（赤、黄、緑）、それぞれの食品がバランスよく入っていることが理想的な食事であることを理解してもらう。 | | |

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

フェルトでできた表に、マジックテープ付きの食品カードを貼って使う。

<材料>

布、フェルト、ロープ、マジックテープ、紙（食品カード、ラミネートする）

<工夫点>

サイズが大きめなので、黒板などに貼り、生徒にカードを貼らせる等がしやすい。

<効果>

目で見てわかりやすい、生徒にカードを貼らせる等の動きのある活動ができるため、授業に積極的に参加させられる。

| | | | |
|-------|--|-----|-----|
| 教材教員名 | はみがきカード | 分類 | その他 |
| | | 授業名 | 全学部 |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・歯みがきの手順がわかる。 ・磨く場所を意識することができる。 | | |

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

歯みがきカードを見ながら歯みがきをさせる。

<材料>

写真（保健室にある歯列模型と歯ブラシ）、イラスト（ドロップレット等）、ラミネートフィルム

<工夫点>

子どもの発達、特性に合わせ、カードの枚数を増減したり、イラストか写真かを選択したりする。

<効果>

| | | | |
|-------|------------------|-----|-------------|
| 教材教員名 | 口の体操 | 分類 | その他 |
| | | 授業名 | 個別課題学習（小学部） |
| ねらい | 口の周囲の筋肉や下の筋肉を鍛える | | |

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- イラストを見せながら「い」「う」「べー」など声を出して口や舌を動かす

<効果>

- 繰り返すことで「う」の口の形ができるようになっていたり、舌を左右に出すこともできるようになったりした。